

**「いも研」は、
山形の飲酒文化を
変えていきます!**

アル法推進フォーラム in やまがた 2017

アルコール健康障害対策基本法 推進フォーラム in やまがた 2017

～みんなで考えようアルコールのこと～

2017年11月11日(土) 14:00～16:30

会場: 山形市総合福祉センター 2階交流ホール
(山形市城西町2-2-22)

第1部

講演 「酒にまつわる今昔物語」

講師: 加藤純二先生(宮千代加藤内科医院院長)

宮城県仙台市で、内科医の立場からアルコール医療に取り組んでおられます。お酒にまつわる歴史、未成年者飲酒禁止法(大正11年)からアルコール健康障害対策基本法(平成25年)成立までの歴史など興味深いお話が聴き取れると思います。ご期待ください!

参加費無料
定員200名

年齢制限ありません。
興味・関心のある方は
ぜひいらしてください!

第2部

■鼎談&ディスカッション

「取り戻せない」過去はあるけれど、
「今からつくれる」未来もある

宮千代加藤内科医院	院長 加藤純二 氏
山形県断酒連合会	会長 高橋俊晴 氏 (依存症回復者)
アルコール健康障害対策基本法推進 ネットワーク(アル法ネット)	幹事 小関清之 氏

■ドキュメンタリー映画の上映

「アノニマス・ピープル」 無名の人々～回復者の顔と声～

★会場ロビーにおいて、アルコールバッチテスト・飲酒習慣チェックも行っています。

アルコール関連問題啓発週間 11月10日～11月16日

主催: 村山総合支庁 (村山保健所)
協力: 山形県精神保健福祉センター・山形県依存症関連問題研究会・山形県断酒連合会
お問い合わせ先 村山総合支庁 (村山保健所) TEL: 023-627-1184



アル法推進フォーラム in やまがた 2018

アルコール健康障害対策基本法推進フォーラムinやまがた2018

みんなで考えよう！
「お酒」とのつきあい方

2018年
11月11日(日) 14:00~16:30 (開場 13:40)

会場 山形市保健センター 視聴覚室
山形市城南町一丁目1番1号(霞城セントラル3階)

参加無料
定員140名

※お車で越しの方は近隣駐車場をご利用ください。
駐車料金は参加者のご負担になります。

第一部 14:00~14:50 講演

「アル法に込めた**理念**、託す**希望**」

アルコール健康障害対策基本法推進ネットワーク事務局長
NPO法人ASK(アルコール薬物問題全国市民協会)代表 **今成知美さん**



1983年、ASKが牽引してきたアルコール関連問題への「予防教育と社会規制」「早期発見・介入のしくみづくり」「家族ぐるみの回復」は、30年余の取り組みを経て「アルコール健康障害対策基本法」という形で大きな実を結びました。

第二部 14:50~16:30 トークセッション

「山形が目指すもの~**夢と希望**されど**現実と**~」

花に酔い、月を愛で、鎮守の祭りの御神酒... 人の暮らしを潤す役割の「酒の酔い」が... 不適切な飲酒に至った場合に招く、人生の破綻... 一緒に考え、語り合ってみましょう。

鶴岡田川断酒新生会の会員、北村山断酒会の家族、大島希さん(山形県依存症関連問題研究会/若宮病院)
助言者 今成知美さん

座長 小関清之さん(アルコール健康障害対策基本法推進ネットワーク幹事/秋野病院)

当日は山形駅東西自由通路にて「お酒と健康」についてパネル展示・アルコールクイズラリーなども行っています。お気軽にお立ち寄りください。

アルコール関連問題啓発週間 11月10日~11月16日

主催: 村山総合支庁(村山保健所)
協力: 山形県精神保健福祉センター・山形県依存症関連問題研究会・山形県断酒連合会
お問い合わせ先: 村山総合支庁(村山保健所) TEL: 023-627-1184



依存症を正しく知ろう県民フォーラム 2019

依存症を正しく知ろう 県民フォーラム2019

生きづらさから自由になるために

日時

2019年11月16日(土)

13:00~16:00

(受付開始: 12:30)

場所

山形市総合福祉センター
2階 交流ホール

(山形市城西町2丁目2番22号)

駐車場無料

※台数に限りがございますので、できる限り公共交通機関のご利用や乗り合わせでのご来場をお願いいたします。

参加無料!
先着170名

プログラム

第一部 講演

「酔うと化け物になる父を持って」

～依存症の親を持つ子どもの生きづらさ～

講師 菊池 真理子さん(漫画家)

第二部 トークセッション

「生きづらさから自由になるために」

高橋 ふきさん(山形県酒連合会)

菊池 真理子さん(漫画家)

近藤 京子さん(オンプレ・ジャパン)

小関 清之さん(山形県依存症関連問題研究会)



松本穂香×渡川清彦のダブル主演による「実写映画化」決定!
作者である漫画家、菊池真理子さんをお迎えします。



お酒を飲む人も飲まない人も飲みすぎちゃう人も飲みすぎる人のどなりにもいもにぞみてほしい映画です



お問い合わせ

以下のメールにてお受けいたします。
y_imoken@yahoo.co.jp
秋野病院・地域連携室内
山形県依存症関連問題研究会 事務局



※「お酒と健康」についての体験・展示コーナーもあります!

- <主催> 山形県依存症関連問題研究会
- <共催> 山形県酒連合会
- <後援> 山形県精神保健福祉士協会、日本精神科看護協会山形県支部、山形県臨床心理士会、山形県看護協会、山形県薬剤師会、山形県作業療法士会、山形県PTA連合会、山形新聞・山形放送、朝日新聞山形総局、河北新報社、毎日新聞山形支局、読売新聞山形支局、NHK山形放送局、山形テレビ、テレビユー山形、さくらんぼテレビ、エフエム山形(順不同)

令和元年度山形県精神疾患等理解促進事業

依存症を正しく知ろう 県民フォーラム2019

2018年度、山形県は国の定める基本理念に沿ったアルコール健康障害対策推進計画を策定しました。暮らしに身近なアルコール飲料の不適切な摂取による健康障害の発生や依存症への罹患が低いよう、県民一人ひとりが正しい知識のもとに安心と理解を深めることが大切であると指示しています。

2017年及び2018年の実績を引き継ぎ『依存症を正しく知ろう 県民フォーラム2019』では、私たちに身近な「家族と依存症」にスポットをあてます。依存症を抱える親のもとで育った子どもが、青年期や成人へと成長する過程で、気分障害や摂食障害などのメンタルヘルス課題に直面したり、偏見と恥辱が渦巻くコミュニティから排除され孤独を感じる場面も少なくありません。依存症の進行と共に巻き込まれ、さらに世代を超えて伝播する「生きづらさ」からどう自由になるか。希望ある再出発の可能性について、回復当事者や支援者と共に体験を語り合い、知恵を分かち合う機会とします。

講演

菊池 真理子さん
漫画家、作品発表後、大きな反響を呼んだエッセイコミック『酔うと化け物になる父がつからい』を代表作とし、後に『酔うと化け物になる父がつからい』(KADOKAWA)、『生きづらさ』(秋田書店)など、単行本多数。現在は、月刊誌『カラス』(秋田書店)で『酔うと化け物になる父がつからい』を連載中。

トークセッション

高橋 ふきさん
(山形県酒連合会・専務員 代表)
山形県生まれ、山形県育ち。酒の愛用者だが飲めず大人になり、4年経ち、愛用の酒を押し返して未だ結婚、夢のような生活が送れるまで。アルコール依存症を身近に感じ、山形県酒連合会に所属。生きづらさから自由になるように努力し、現在に至りました。

近藤 京子さん
(一般社団法人オンプレ・ジャパン 代表理事)
ADR(アルコール健康障害治療士)資格、専門職の経験豊富な治療家。アルコール依存症を克服するべく、一般社団法人オンプレ・ジャパンを立ち上げたところ。私自身、アルコール依存症の経験者として奮闘中。みなで支え合おう!

小関 清之さん
(医療法人社団山形県野病院 地域連携課長)
内定者研修、東に響く声から「精神科ソーシャルワーカーとして『生きづらさ』を克服する方々への支援の取り組み」が「エッセイ」に採り上げられた。単行本、書籍が数冊ある。この機会に自分の経験を語り、回復を願う方々に寄り添いたい。話し合いの機会へと繋いでいこう!

アルコール依存症 薬物依存症 生活習慣病 D.V. JAC

依存症は、生活の営みに組み込まれた生活全体を覆い尽くす

精神・社会 家族・子ども

山形県依存症関連問題研究会 (通称:いも研)

アルコール依存症、キャンパー等の依存症、薬物依存症(覚醒剤・麻薬・海洛イン)の専門知識、経験豊富な治療士による個別相談や自助会と結びついた、療育的支援体制の構築など。療育的支援体制(一歩・二歩・三歩)の構築、行動計画の策定、グループワーク、自助グループの構築、相談室(夜間)など。



山形県依存症関連問題研究会



☆官か民か。所属機関の職員である前に専門職者として。様々な垣根を越えた連携と協働による地域ネットワーク

☆個人への丁寧なかかわりと全体状況である社会変革を合い言葉に!

☆地域課題や人の暮らしをより良くするために負託された専門職者としての責務を果たすために



1987年～ 山形アルコール関連問題研究会（通称：アル研）

つながればここまでやれる！

2017年～ 山形県依存症関連問題研究会（通称：いも研）